

共同礼拝

2024年9月8日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 高橋和人

奏楽 佐藤裕子

前 奏

招 詞 ヨハネによる福音書 7章 37b～38 節

讃 詠 5 4 6

主の祈り

聖 書

エレミヤ書 4章 1～2 節 (旧 1180)

使徒言行録 9章 3 2～4 3 節 (新 231)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 6

説 教 「主に立ち帰り、主を信じる」

牧師 姜 徑米

祈 禱

讃 美 歌 II 1 9 2

献 金

頌 栄 5 4 0

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

9月の祈り

主の選びとみ救いに与り、主と共に歩んだ信仰の先達たちを覚え、残された人々に主の復活によって明らかにされた、真の命の希望と慰めが与えられるように。

伝道が力づけられるように。秋の諸行事が守られるように。

夏休みを終えた子どもたちの心と体が守られ力づけられるように。

今日の祈り

礼拝に向かう思いが導かれ、礼拝姿勢が整えられ、真剣で集中した思いによって守られるように。

役員(長老)の働きが主に導かれ力づけられるように。

災害の被災者が力づけられるように。戦火による被害と痛みが和らげられるように。平和と復興が与えられるように。

「主に立ち帰り、主を信じる」 姜 徑米

使徒言行録 9章 3 2～4 3 節

この箇所を読む私たちは、ペトロの行なった奇跡に驚くと共に、それは遠い昔の話で、現代を生きる私たちにはこのようなことは起らないと決めつけているのではないのでしょうか。

しかしそれは、間違った受け止め方です。ペトロは、自分の特別な力でこれらのことを行なったのではありません。主イエスのみ業が教会において現れるための器とされたのです。そうであるならば、同じことは今日の私たちの教会にも起るはずです。

こういうことを期待するとき、間違っ

いは、その期待を、私たちの中にも誰かペトロのような力強い業を行なうことのできる人が現れないだろうか

と期待することです。使徒言行録が語っているのは、個人の特別な力によってすばらしい奇跡が行なわれたということではないのです。ここに語られているのと同じことが私たちにも起ると考えて、それを私たちは、病気で寝たきりの人が癒されて起き上がることができる、あるいは死んでしまった人が生き返るとい

うことがそのまま私たちにも起ると考えるべきではありません。なぜなら使徒言行録でも、福音書でも、そのような肉

体の癒しや死者の復活は、それ自体が主イエスの救いなのではなく、むしろ主イエスが神様の独り子であられ、私たちの救い主であられることを示し、表わすためになされていることだからです。

主イエスの救いは、病いの癒しや死者を生き返らせることそのもの

にあるわけではありません。それらのみ業が示している事柄が大事です。それは、主イエスによって、私たち人間の、病い、老い、そして死の力が既に打ち破られているということです。そのことは、主イエスの十字架の死と復活において実現しました。主イエスが私たちに代って十字架にかかって死んで下さることによって、神様は私たちの罪を赦して下さいました。主イエスの十字架の死と復活によって、私たちは罪を赦され、神様とのよい交わりを与えられ、私たちを生かし、支えて下さる神様の恵み、祝福の下に置かれているのです。救いの恵みが、ペトロを通して、教会に現わされ、教会の人々